

宮崎県豚熱対策本部会議（書面開催）

令和8年1月22日

1 協議事項

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例について

2 本部長指示事項

- （1）国や隣県と連携して野生イノシシへの対策を強化するとともに、引き続き、徹底した農場防疫を確実に行い、疾病の発生防止に努めること。
- （2）現場の状況をしっかりと把握して、県民に対して正確な情報を迅速に伝えること。
- （3）関係部局が緊密に連携し、全庁挙げて対応すること。

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（69例目）について

令和8年1月22日
農政水産部畜産局
家畜防疫対策課

1 事例の概要

（1）イノシシの発見場所

小林市細野

- 1月16日、肉用牛農家が自宅の池で発見
- 同日、市役所を通じ都城家畜保健衛生所へ通報

（2）宮崎家畜保健衛生所による検査

- 1月22日、宮崎家畜保健衛生所でPCR検査を実施したところ、ワクチン由来ではなく野外ウイルスと判定

（3）発見場所の周辺10km内の養豚農場

44戸（小林市30戸、高原町8戸
えびの市4戸、都城市2戸）

約56,000頭

※一部鹿児島県が含まれるが、農場数については不明

（鹿児島県側は霧島連山の山頂付近）



野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（69例目）について

2 県の対応

1月22日（木）

- 周辺の養豚農場（44戸）への電話口頭指導

『農場でのウイルス侵入防止対策の再徹底』

- 野生動物の侵入防止対策の点検（防護柵等の設置状況の確認）
- 農場に入場する車両、物、人の消毒
- 異状があった場合の早期通報

- 関係団体等への防疫対策強化通知文の発出

16:00 県豚熱対策本部会議の開催（書面）

17:00 検査結果のプレスリリース（県）
家畜防疫情報メールの発信

3 今後の対応

（1）豚熱経口ワクチンの緊急散布

発見地点から半径10kmの区域において経口ワクチンを散布予定

（2）捕獲の強化

貸与わなの増設（予定）